

浜松医科大学 地域医療支援学講座  
令和3年度（2021年度）研究報告（資料集）

「グラフで見る静岡県の将来推計人口と  
医療介護需要予測」



浜松医科大学 医学部医学科 地域医療支援学講座  
（静岡県寄附講座）

令和3年（2021年）12月



# 浜松医科大学 地域医療支援学講座

## 令和3年度（2021年度）研究報告（資料集）

### 「グラフで見る静岡県の将来推計人口と医療介護需要予測」

#### 目次

はじめに	1
序章 本書について	5
第1章 静岡県の地域・二次医療圏・市町の状況	9
・平成の大合併の状況（平成22年3月31日）	10
・地域別面積・人口・構成市町数	11
・地域・二次医療圏と市町との関係	11
・二次医療圏別面積・人口・構成市町数	12
・市町別高齢化率の状況（令和3年4月1日）	12
・市町別後期高齢化率の状況（令和3年4月1日）	12
第2章 静岡県における将来推計人口・人口指数の推移	13
1 総人口	14
・将来推計人口の推移（全県、地域・医療圏別）	14
・将来推計人口・人口指数の推移（全県、3地域別）	15
・将来推計人口・年齢3区分構成割合の推移（全県）①・②	15
・将来推計人口・構成割合の推移（3地域別）	16
・総人口指数の推移（全県、地域・医療圏別）	17
・将来推計人口の推移（高齢化率、15歳未満人口割合：全県、3地域別）	17
・2017年度と2040年度の人口比較（全国：減少率・構想区域別）	17
2 15歳未満人口	19
・将来推計人口の推移（全県、地域・医療圏別）	19
・将来推計人口・人口指数の推移（全県、3地域別）	20
・将来推計人口・構成割合の推移（3地域別）	20
・15歳未満人口指数の推移（全県、地域・医療圏別）	20
3 15～64歳人口	21
・将来推計人口の推移（全県、地域・医療圏別）	21
・将来推計人口・人口指数の推移（全県、3地域別）	22
・将来推計人口・構成割合の推移（3地域別）	22
・15～64歳人口指数の推移（全県、地域・医療圏別）	22
4 65歳以上人口	23
・将来推計人口の推移（全県、地域・医療圏別）	23
・将来推計人口・人口指数の推移（全県、3地域別）	24
・将来推計人口・構成割合の推移（3地域別）	24
・65歳以上人口指数の推移（全県、地域・医療圏別）	24

5	75歳以上人口	
	・将来推計人口の推移（全県、地域・医療圏別）	25
	・将来推計人口・人口指数の推移（全県、3地域別）	
	・将来推計人口・構成割合の推移（3地域別）	26
	・75歳以上人口指数の推移（全県、地域・医療圏別）	
第3章	静岡県における地域別将来推計人口・人口指数の推移	27
1	東部地域	
(1)	総人口（全県、東部地域、医療圏別）	28
(2)	15歳未満人口（全県、東部地域、医療圏別）	30
(3)	15～65歳人口（全県、東部地域、医療圏別）	31
(4)	65歳以上人口（全県、東部地域、医療圏別）	32
(5)	75歳以上人口（全県、東部地域、医療圏別）	33
2	中部地域	
(1)	総人口（全県、中部地域、医療圏別）	34
(2)	15歳未満人口（全県、中部地域、医療圏別）	36
(3)	15～65歳人口（全県、中部地域、医療圏別）	37
(4)	65歳以上人口（全県、中部地域、医療圏別）	38
(5)	75歳以上人口（全県、中部地域、医療圏別）	39
3	西部地域	
(1)	総人口（全県、西部地域、医療圏別）	40
(2)	15歳未満人口（全県、西部地域、医療圏別）	42
(3)	15～65歳人口（全県、西部地域、医療圏別）	43
(4)	65歳以上人口（全県、西部地域、医療圏別）	44
(5)	75歳以上人口（全県、西部地域、医療圏別）	45
第4章	静岡県における二次医療圏別将来推計人口・人口指数の推移	47
1	賀茂医療圏	
(1)	総人口（全県、東部地域、賀茂医療圏、市町別）	48
(2)	15歳未満人口（全県、東部地域、賀茂医療圏、市町別）	49
(3)	15～64歳人口（全県、東部地域、賀茂医療圏、市町別）	49
(4)	65歳以上人口（全県、東部地域、賀茂医療圏、市町別）	50
(5)	75歳未満人口（全県、東部地域、賀茂医療圏、市町別）	50
2	熱海伊東医療圏	
(1)	総人口（全県、東部地域、熱海伊東医療圏、市別）	51
(2)	15歳未満人口（全県、東部地域、熱海伊東医療圏、市別）	52
(3)	15～64歳人口（全県、東部地域、熱海伊東医療圏、市別）	52
(4)	65歳以上人口（全県、東部地域、熱海伊東医療圏、市別）	53
(5)	75歳未満人口（全県、東部地域、熱海伊東医療圏、市別）	53
3	駿東田方医療圏	
3-1	医療圏全体	
(1)	総人口（全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区別）	54
(2)	15歳未満人口（全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区別）	56
(3)	15～65歳人口（全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区別）	57



(4) 65 歳以上人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区別)	58
(5) 75 歳以上人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区別)	59
3-2 三島・田方地区	
(1) 総人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	60
(2) 15 歳未満人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	61
(3) 15~64 歳人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	61
(4) 65 歳以上人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	62
(5) 75 歳未満人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	62
3-3 駿東地区	
(1) 総人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	63
(2) 15 歳未満人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	64
(3) 15~64 歳人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	64
(4) 65 歳以上人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	65
(5) 75 歳未満人口 (全県、東部地域、駿東田方医療圏、地区市町別)	65
4 富士医療圏	
(1) 総人口 (全県、東部地域、富士医療圏、市別)	66
(2) 15 歳未満人口 (全県、東部地域、富士医療圏、市別)	67
(3) 15~64 歳人口 (全県、東部地域、富士医療圏、市別)	67
(4) 65 歳以上人口 (全県、東部地域、富士医療圏、市別)	68
(5) 75 歳未満人口 (全県、東部地域、富士医療圏、市別)	68
5 静岡医療圏	
(1) 総人口 (全県、中部地域、静岡医療圏・静岡市)	69
(2) 15 歳未満人口 (全県、中部地域、静岡医療圏・静岡市)	70
(3) 15~64 歳人口 (全県、中部地域、静岡医療圏・静岡市)	70
(4) 65 歳以上人口 (全県、中部地域、静岡医療圏・静岡市)	71
(5) 75 歳未満人口 (全県、中部地域、静岡医療圏・静岡市)	71
6 志太榛原医療圏	
(1) 総人口 (全県、中部地域、志太榛原医療圏、市町別)	72
(2) 15 歳未満人口 (全県、中部地域、志太榛原医療圏、市町別)	73
(3) 15~64 歳人口 (全県、中部地域、志太榛原医療圏、市町別)	73
(4) 65 歳以上人口 (全県、中部地域、志太榛原医療圏、市町別)	74
(5) 75 歳未満人口 (全県、中部地域、志太榛原医療圏、市町別)	74
7 中東遠医療圏	
(1) 総人口 (全県、西部地域、中東遠医療圏、市町別)	75
(2) 15 歳未満人口 (全県、西部地域、中東遠医療圏、市町別)	76
(3) 15~64 歳人口 (全県、西部地域、中東遠医療圏、市町別)	76
(4) 65 歳以上人口 (全県、西部地域、中東遠医療圏、市町別)	77
(5) 75 歳未満人口 (全県、西部地域、中東遠医療圏、市町別)	77
8 西部医療圏	
(1) 総人口 (全県、西部地域、西部医療圏、市別)	78
(2) 15 歳未満人口 (全県、西部地域、西部医療圏、市別)	79
(3) 15~64 歳人口 (全県、西部地域、西部医療圏、市別)	79
(4) 65 歳以上人口 (全県、西部地域、西部医療圏、市別)	80

	(5) 75歳未満人口(全県、西部地域、西部医療圏、市別)	80
第5章	令和2年(2020年)国勢調査 人口等基本集計結果(静岡県分)	81
	・令和2年(2020年)国勢調査 人口等基本調査集計結果	
	(全県、地域・医療圏別)	82
	・国立社会保障・人口問題研究所による2020年の推計人口(2018年推計)	
	(全県、地域・医療圏別)	83
第6章	静岡県における医療介護需要予測指数の推移と入院推計患者のピーク	85
	1 医療介護需要予測指数の推移	
	(1) 全県	86
	(2) 賀茂医療圏(医療圏全体、1市5町)	87
	(3) 熱海伊東医療圏(医療圏全体、2市)	89
	(4) 駿東田方医療圏	
	(4)-1 三島・田方地区(医療圏全体、3市1町)	90
	(4)-2 駿東地区(医療圏全体、3市3町)	91
	(5) 富士医療圏(医療圏全体、2市)	93
	(6) 静岡医療圏(医療圏全体、1市)	94
	(7) 志太榛原医療圏(医療圏全体、4市2町)	95
	(8) 中東遠医療圏(医療圏全体、5市1町)	97
	(9) 西部医療圏(医療圏全体、2市)	99
	2 入院推計患者のピーク	
	・二次医療圏ごとの入院推計患者のピーク	100
おわりに		101

注：本報告書における年度の表記方法は、原則として元号で表記し、西暦を括弧書きで併記した。ただし、スペースの関係や、経年変化等を分かりやすくするためなどから、一部の図表等では、いずれか一方のみ、あるいは、西暦を優先した表記とした。







## はじめに



浜松医科大学 医学部医学科 地域医療支援学講座  
特任教授 竹内 浩視

本講座は、平成30年（2018年）4月に静岡県の寄附講座として設置され、本年3月に一期目が終了し、4月からは二期目に入ることができました。これまでの皆様の本講座へのご理解とご支援に対しまして、この場をお借りして改めて厚くお礼申し上げます。

さて、世界的な大流行（パンデミック）が続いている新型コロナウイルス感染症は、度重なる変異株の出現により、今なお予断を許さない状況にあります。また、このウイルスの出現により、地域の医療提供体制は長期にわたり甚大な影響を受けており、当該感染症のみならず、その他の傷病に対する医療への影響（コラテラルダメージ）も指摘されています。昼夜を分かたずご尽力されている保健・医療・介護・福祉関係者並びに行政担当者をはじめとする関係の皆様は改めて深い敬意と感謝の念を表します。

一方、本年5月の改正医療法等の成立により、令和6年（2024年）4月からの医師の時間外労働上限規制の施行に向け、各医療施設では、引き続き新型コロナウイルス感染症に対応しつつ、限られた期間で自施設の体制整備が求められることとなりました。

このような中、病床の機能分担と連携、さらには医療・介護連携による効率的で質の高い医療提供体制の構築に向け、病院完結型医療から地域完結型医療への転換を目指す地域医療構想は、策定から5年を経て、改めてその意義が問われているように感じています。

本年9月に厚生労働省が公表した令和2年（2020年）の人口動態統計（確定数）では、出生数が過去最少を更新し、自然増減では14年連続の減少でした。また、死亡数は11年ぶりに減少していますが、新型コロナウイルス感染症の影響を指摘する意見もあります。

今後、出生数の劇的な増加は見込めず、来年度以降の3年間で団塊の世代が75歳以上となり、高齢者の人口構成が短期間に大きく変化する中、医療・介護従事者の確保はさらに厳しさを増すことが考えられます。

このように、少子高齢化が今後さらに進展する中での人口減少という大変厳しい日本の人口動態が予測される状況において、地域医療構想の目的は、限られた医療資源でどのように地域の医療提供体制を構築・維持していくかということにあると私は考えています。

ところが、地域医療構想アドバイザーとして、各構想区域（概ね二次医療圏単位）で開催されている地域医療構想調整会議に出席していると、構想の目的が非稼働病床の削減や、病床削減に伴う入院医療費の削減にあるかのような印象を受けることがあります。

特に、病床削減や病院の再編・統合に対する国庫補助制度（全額国負担）が昨年度創設



され、各構想区域の調整会議でも中小病院や有床診療所の病床削減計画が議題に上るようになってから、その傾向が強くなっているようにも感じています。

しかしながら、病床削減や病院の再編・統合は、あくまでも地域における医療提供体制の全体最適を目指す地域医療構想を実現するための手段であって、目的ではないはずです。

また、前述のように今後医師の働き方改革が本格化し、これまでも医師の不足が課題となっていた診療科や部門を中心に、医師少数県である本県の医療現場はより一層厳しい状況に追い込まれることが懸念されています。

そこで、今一度地域医療構想の原点に立ち返り、公表されている将来推計人口や医療介護需要予測等に基づき、本県や各地域における将来あるべき医療提供体制の姿をイメージし、関係者間で共有することが大切なのではないかと考えて本資料集を作成しました。

本資料集では、静岡県全体の全体像を概観した上で、現時点で国立社会保障・人口問題研究所がホームページで公表している「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

（※）を用いて、静岡県の全県・3つの地域（東部・中部・西部）・8つの二次医療圏・35の全市町について、総人口・年齢3区分人口・75歳以上人口とそれらの構成割合（いずれも男女計）のグラフ化を試みました。詳細は本編でご確認いただきたいと思います。今後20年前後で見込まれている変化について、全県から市町単位まで一冊にまとめました。

また、実態と過去の推計値との比較として、2020年実施の国勢調査結果（確定値）による総人口と2018年推計時点の2020年の推計人口を掲載しました。

さらに、公益社団法人日本医師会がホームページで公開している「地域医療情報システム」から、本県の「医療介護需要予測指数」を引用して掲載しました。将来推計人口と併せてご覧いただくことにより、それぞれの地域において将来必要とされる医療の内容や医療提供体制のイメージを描く参考になるのではないかと考えています。

人口動態と将来推計人口は、短期間に修正できるものではありません。これらはこれまでの長年にわたる施策や人々の営みの結果ですが、また同時に、今後の中長期的な施策のあるべき方向性を示す道標（道しるべ）でもあります。

本資料集をご活用いただき、それぞれの地域における将来のあるべき医療提供体制について、地域医療構想調整会議をはじめ、地域における様々な協議の場で議論を深めていただくことを期待したいと思います。

また、医療・介護関係者や行政関係者に限らず、保健・福祉関係者や教育関係者をはじめ、県民の皆様にも広くご活用いただくことにより、本資料集が今後の地域の在り方やまちづくりについて考えるきっかけとなれば望外の喜びです。

最後になりますが、引き続き、本講座にご指導ご鞭撻並びにご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

※ 国立社会保障・人口問題研究所では、5年ごとに実施される国勢調査の結果に基づき将来推計人口を算出・公表しています。現在、平成27年（2015年）の国勢調査結果に基づく将来推計人口が公表されていますが、令和3年（2021年）11月30日に直近の国勢調査（令和2年（2020年）実施）の人口等基本集計結果が公表されたことから、今後、新たな推計結果が示されるものと思われます。



